

ASAGAYA!YA!

2024年9月号



「YA世代に贈る絵本」 特集

YA!YA!NEWS! ①

2階YAコーナーには、
中高生向けお仕事の本コーナー
もあります!

将来、なにになりたいかな…?
悩んだら、本をみてみよう!

YA!YA!NEWS! ②

夏休み中、
臨時駐輪場脇の花壇に
向日葵が咲きました!



特別企画!

職場体験の中学生・
高校生のみなさんの

「お気に入りの一冊」



特集「YA世代に贈る絵本」

阿佐谷図書館の職員が、中高生のみなさんにおすすめの絵本をご案内！
今だからこそ感じられるストーリーの深みや、絵の美しさ、作品の魅力をご紹介します。
気になる絵本があったら、ぜひ図書館で借りて読んでみてくださいね。



【ER】
『ペレのあたらしいふく』
エルサ・ベスコフ／さく・え
おのぞら ゆりこ／やく
福音館書店

こひつじを一匹持っていたペレ。次第に、こひつじの毛は長くなり、ペレのうわぎは短くなりました。ある日、ペレはこひつじの毛をみんな刈りとり…。スウェーデンの自然が美しく描かれたこの絵本には、静かな感動があります。それは、現代の便利な生活の中で忘れられがちな大切なことに気づかせてくれるからかもしれません。はたして、ペレはどのように新しい眼を手に入れたのでしょうか？

【ER】
『ねえ、どれがいい？』
ジョン・バーニンガム／さく
まつかわ まゆみ／やく
評論社

「ジャムまみれと、みずびたしと、イヌにひかれてドロだらけと、どれがいい？」次々とくりだされる究極の選択。どれもやだよ！とツッコんだり、どれもいいかも！とうっとりしたり、ついつい笑ってしまいます。せわしない日々ひと休みに、やさしい絵でほのぼのと幸せな気持ちになれる絵本です。



誰もが知っている「くまのプーさん」。この有名なお話は、一匹のコグマと心優しい獣医の友情からはじまりました。第一次世界大戦の真っ只中、軍馬の面倒を見る獣医となったハリーは、カナダから戦場に向かう駅で、コグマのウィニーと出会います。大人しくて賢いウィニーは、隊員たちの心を癒し、共にイギリスへ渡ることになり…。



【EC】
『からすたろう』
やしま たろう／文・絵
偕成社

学校で「ちび」「とんま」と呼ばれ、いつもひとりぽつんとしていた少年。卒業の年になり、ついに担任の先生によって、その人格と才能を認められます。そして、それは次第に周囲へと広がっていきました。実は、著者の体験が描かれているこの絵本。アメリカで制作されて、栄えあるコルデコット賞次席を受賞しました。十代の皆さんに感じてほしい大切なことが、味わい深い絵で描かれている一冊です。



【ER】
『プーさんとあった日』
世界でいちばんゆうめいなクマの
ほんとうにあったお話』
リンジー・マティック／ぶん
ソフィー・ブラッコール／え
山口 文生／やく 評論社

職場体験の中学生・高校生のみなさんの

お気に入りの一冊

小さい頃好きだった懐かしい絵本や、最近読んで面白かった絵本を紹介してくれました！
あなたのお気に入りがありますか？



【EC】
『どんぐりむらの
ほんやさん』
なかや みわ／さく
学研教育出版
(Gakken)

お客様にぴったりの本を選べるてんちょう、かんぱん娘のくるん、配達係のこなろうが営む本屋さんの愉快な物語。この物語を読んで、私は本のすごさや本屋さんのすごさをあらためて感じることができました。おもしろいから、ぜひよんでみてね！



【ER】
『てぶくろ ウクライナ民話』
エウゲーニー・M・
ラチョフ／え
うちだ りさこ／やく
福音館書店

みんなで協力しているのがいいと思いました。冬の寒い日、一つてぶくろで、ねすみ、カエル、うさぎ、きつね、おおかみ、いのしし、くまが、ぎゅうぎゅうになりながらもみんなであたたまっているのが、とてもかわいいです。ぜひ読んでみてください。



【ER】
『三びきのやぎのからがらどん』
アスビョルンセンとモー
の北歐民話』
マーシャ・ブラウン／え
せた ていじ／やく
福音館書店

からがらどんという名前の三びきのやぎが、トルルのいる橋を渡るときに、トルルに一飲みにされないよう自分たちの体格の差を利用するところが面白いのでおすすめです。私が一番好きな部分は、一番小さいやぎが橋を渡るときは「かたことかたこと」、二番目のやぎは「がたごとがたごと」、大きいやぎは「がたんごとんがたんごとん」というように、体格によって橋を渡るとき表現が違ってくることや、この渡るときの音を聞いたトルルのセリフも、渡っているやぎによって違うところです。



【EC】
『ほげちゃん』
やぎ たみこ／作
偕成社

くまのぬいぐるみの「ほげちゃん」は、ゆうちゃんの家に来てから我慢ばかり。ゆうちゃんたちがおでかけする日、ほげちゃんと猫のムウは、おるすばんです。そこで、ほげちゃんは家の中をめちゃくちゃにしました。ソファの上で、はねたり、ティッシュをだしたり、ゴミ箱をひっくり返したり…。とても面白いので、ぜひ読んでみてください！



【EC】
『うちにがえったガラゴ』
島田 ゆか／作 絵
文溪堂

ガラゴは旅するかばん屋。そんなガラゴも寒い冬はおうちでゆったり。お風呂に入ろうとすると誰かが扉をトントン。ドアの前に立っていたのは…？「バムとケロ」シリーズでおなじみの島田ゆかさんのガラゴシリーズ。バムとケロを知っているとより楽しめます。おすすめポイントは登場している家具！とにかくかわいくて凝っているので隅々まで見てほしいです！！

YA! おすすめの本!



【970ハ】
『フォグ 霧の色をしたオオカミ』
マルタ・パラッツェージ/作
杉本 あり/訳
Naffy/イラスト
岩崎書店

19世紀末のロンドン。売れるものを探してテムズ川の泥をあさる孤児の少年・クレイは、偶然手にした一枚のチラシに惹きつけられ、危険を冒してサーカスに忍び込みます。そこで出会ったのは、銀色に輝く毛を持つ、この先見ることがないと思うほど美しい野生のオオカミでした。しかし、その時に見た、檻に閉じ込められ虐待されるオオカミの姿がいつまでも頭から離れず、逃がす手段を考え始めます。悪意が渦巻く中、クレイの無謀な決意を支えたものとは…?

YA! あたらしい本!



【913テ】
『あるいは誰かのユーウツ』
天川 栄人/著
講談社

【310ハ】
『僕たちはまだ、
総理大臣のことを何も知らない。』
長谷部 京子/著・監修
木平 木綿/構成
Gakken



【400ウ】
『ピーカーくんのなるほど理科室用語辞典
実験・観察がもっとたのしくなる!』
うえたに夫婦/著
誠文堂新光社

※本の表紙画像は出版者に掲載許可を得て使用しています。

ASAGAYA! YA! 2024年9月号

(阿佐谷図書館YA向けお便り)

発行 杉並区立阿佐谷図書館
〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-36-14
☎03-5373-1811